

2021 年度の教育活動に対する学校評価

自己評価 2022 年 3 月 15 日

学校法人博学園 須津幼稚園長

後藤正章

学校法人博学園 須津幼稚園 学校関係者評価委員長

高田 浩之



- 1 幼稚園の教育目標 『げんきな子 がんばる子』
- 2 本年度の重点目標 「子どもの心に寄り添い、心の育ちを見守る」
- 3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

2022 年 3 月 27 日

(※評価点は、A(十分に成果があった)・B(成果があった)・C(少し成果があった)・D(成果がなかった)の数値で示すこと。)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善	評価点	意見
保育計画	幼保連携型認定こども園として0歳児から就学前までの乳幼児の成長を見通した計画がなされていたか	B	昨年度の実践を踏まえて、乳児と幼児の交流を計画実行した。新型コロナウイルス感染症の感染防止策をとりながら、運動会の練習を見学したり、野菜の成長を見させてもらう、収穫した野菜をいただくなどのちょっとした交流の場が、お互いの保育に負担にならず有意義なものとなった。	B	昨年度の交流を踏まえ、一歩前進できたことは評価します。今年度もウィズコロナの中でのより良い交流を期待します。
指導の在り方	一人ひとりの心に寄り添うかかわりができたか。	B	心に寄り添うことと わがままを受け入れてしまうことが紙一重であることを再認識した。今年度も、振り返りの中で、反省と改善の日々であった。	B	子ども一人ひとりの心により沿うことは難しいですが、心を見る目をこれからも養ってください。
	集団生活の中でお互いに刺激を受けることで心が育っていく過程を見守ることができたか。	B	集団生活の中での子どもの育ちを見守ることはできていても、それを教師自身がしっかり認識し、保護者へ発信することが少ないと教育に関するアンケート結果に表れていた。来年度は教師自身がしっかり認識すること、保護者への発信に力を入れていきたい。	B	指導の在り方とは直接関係ありませんが、保護者への発信はとても大切なことです。期待します。
研修	教師の資質向上の為に園内研修を企画したり、園外の研修会に参加する機会を確保していたか	B	コロナ禍の中、市内の研修会やズームでの外部研修に参加した。園内研修の充実を図ることができた。	B	研修による自己研鑽費とこれから続けてほしい。
子育て支援	子育て支援の為に未就園児親子への親子教室を2階ホールにて開催した。	B	今年度も新型コロナウイルス感染防止の為、状況により親子教室や園庭解放を中止したり再開したりした。専門機関との連携を図り、子ども達の育ちにプラスとなった。	B	コロナウイルス感染症対策と子育て支援とバランスをとりながらこれからも続けてください。